

2020年度 東洋大学IRシンポジウム



主催：東洋大学IR室

○開催趣旨

新型コロナウイルスは、大学教育の現場に深刻な危機をもたらしました。この危機を乗り越えようとする中、これまで認識できなかった課題や大切なものを振り返る必要があります。

今回のシンポジウムは、コロナ禍で大きな影響を受けている留学生の教育と学びに焦点をあて、その実態と課題を明らかにすると同時に、留学生の日本の大学キャンパスにおける学生生活、わが国に留学する目的や意義などを再認識する機会として開催いたします。

○プログラム

- | | | |
|-------------|-------------------|---|
| 14:30~14:40 | ● 開会挨拶・講演 | 矢口 悦子
東洋大学 学長・IR室長、文学部教授 |
| 14:40~15:05 | ● 講演1 | ポストコロナに向けた国際教育
佐藤 邦明
文部科学省 高等教育局主任大学改革官・国際企画室長 |
| 15:05~15:30 | ● 講演2 | 大学教育とグローバル・エンゲージメントの新展開
米澤 彰純
東北大学 国際戦略室副室長・教授
総長特別補佐(国際戦略担当) |
| 15:30~15:40 | ● 休憩 | |
| 15:40~16:05 | ● 講演3 | 二つの学生調査から見た留学生の学修の現状と課題
劉 文君
東洋大学 IR室教授 |
| 16:05~16:30 | ● 講演4 | 留学生の学びを支えるー上智大学の取り組み
杉村 美紀
上智大学 総合人間科学部教授
グローバル化推進担当副学長 |
| 16:30~17:10 | ● パネル
ディスカッション | 進行・総括
芦沢 真五
東洋大学 国際学部教授 |

留学生の教育と学びを考える

参加
無料

2020年12月19日(土)14:30~17:10

オンライン(Webex)にて開催



お申込はコチラ

お問い合わせ：東洋大学IR室 mlfdjimu@toyo.jp



矢口 悦子 東洋大学 学長・IR室長、文学部教授

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(博士課程)単位取得退学。博士(人文科学、1998年)(お茶の水女子大学)。専門は社会教育学、生涯学習論。山脇学園短期大学教授などを経て、2003年4月から東洋大学文学部教授。文学部長などを歴任し、2020年4月から現職。著書『英国の教育』(共)、東信堂(2017年)、『地域を支える人々の学習支援—社会教育関連職員の役割と力量形成—』(共) 東洋館出版社(2015年)、『変革期にあるヨーロッパの教員養成と教育実習』(共) 東洋館出版社(2012年)など。



佐藤 邦明 文部科学省 高等教育局主任大学改革官・国際企画室長

秋田県庁在職中、国際教養大学の設置準備・運営に従事。文部科学省に転籍後、高等教育局国際企画専門官として、スーパーグローバル大学やグローバル人材育成、UNESCO東京規約、ジョイント・ディグリー制度等大学の国際化推進施策を担当。京都大学にて企画課長、総長特命補佐等の後、高等教育局視学官・大学改革官を経て現職。米国ミネソタ州立大学卒、東京大学教育学研究科博士前期課程修了。



米澤 彰純 東北大学 国際戦略室副室長・教授、総長特別補佐(国際戦略担当)

東京大学大学院教育学研究科博士課程中退、2009年東北大学より博士(教育学)。東京大学、経済協力開発機構、広島大学、大学評価・学位授与機構、名古屋大学などを経て現職。日本高等教育学会、日本比較教育学会理事。専門は教育社会学・高等教育。高等教育政策・質保証などのマクロな国際比較を得意とし、現在は、途上国までを含めた大学の国際的な役割について研究。共編著Japanese Education in a Global Age (Springer 2018), Researching Higher Education in Asia (Springer 2018)など。



劉 文君 東洋大学 IR室教授

東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学、2003年)(東京大学)。専門は高等教育、比較教育、職業教育。日本学術振興会、東京大学大学総合教育研究センターなどを経て現職。中国海洋大学、天津大学など客員教授。台湾評価協会顧問。日本私立大学連盟大学『これまでのIRこれからのIR』(2018年)などの調査・分析を担当。主な著作:「日本におけるIRの機能」『大学研究』第42号、筑波大学大学研究センター(2016年)など。



杉村美紀 上智大学 総合人間科学部教授、グローバル化推進担当副学長

教育学修士・博士(教育学、1998年)(東京大学)。専門は比較教育学、国際教育学。研究テーマは国際高等教育、多文化社会の教育と多文化共生。ユネスコ国内委員会委員、日本学生支援機構運営評議員、東芝国際交流財団理事、JICA研究所(現・緒方貞子平和開発研究所)客員研究員、日本国際連合協会理事を歴任。日本比較教育学会会長として、世界比較教育学会理事を兼任。主な業績に『日本で出会う世界—国内で実現する短期集中型国際研修』(2020年、共編著)、『移動する人々と国民国家—ポスト・グローバル化時代における市民社会の変容』(2017年、編著)など。



芦沢真五 東洋大学 国際学部教授

ハーバード大学教育大学院卒(Ed.M 教育学修士)。専門は国際教育、比較教育、教育交流論。慶應義塾大学、大阪大学、明治大学などを経て2013年より現職。UMAP国際事務局事務次長。現在、国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))「国境を越える人材と資格・学歴認証の将来像」研究代表者。東京規約ユネスコ・アジア太平洋地域会議委員。「転換期の教育交流と国際教育の将来像:コロナ禍における教育交流のパラダイムシフト」(2020年)などの発表論文がある。

申込期限・方法

- 申込期限 2020年12月16日(水)
- 申込方法 下記のURLまたは右記のQRコードから申込が可能です。
リンク <https://forms.gle/pP8Dr2HnfRKBGqca6>



お申込はコチラ

当日接続方法

Webex Eventsを使用予定です。申込時にご登録いただいたメールアドレス宛に、接続先情報をお送りします。